

2007年1月1日から2016年12月31日の間に川崎医科大学附属病院
で原発性肺癌と診断され、手術を受けられた患者さんへのお知らせ

課題名：肺癌術前療法後の効果判定における PERCIST (Positron Emission
tomography Response Criteria In Solid Tumors) の有用性を評価する
多施設共同後ろ向き臨床研究

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、2007年1月1日～2016年12月31日の間に、当院において肺癌と診断され手術を受けられた患者さんのうち、術前治療（化学療法または化学放射線療法）のあと6か月以内に手術を施行された方について、術前治療前後に撮影したPET/CTを新しい方法で再評価する研究を行います。

研究期間は、倫理委員会承認日～2020年6月30日の予定です。

本研究の目的は、今後、術前治療（化学療法または化学放射線療法）のあとに手術を受けられる患者さんに対して、どのような患者さんが手術の恩恵を受けられるかをPETを用いて予測することです。

この研究結果は、学会演題や学術論文として発表される予定です。本研究は診療録データ（年齢、性別、CT画像、FDG-PET画像、化学療法および放射線治療の内容・手術内容・病理組織学的情報・予後）を評価する観察研究であり、患者さんの個人情報抹消した状態で解析します。従って、患者さんの個人情報が外部に漏れる心配は全くありません。疑問のある方は、遠慮なく下記の問い合わせ先にご相談下さい。また、この研究に自分のデータを使用されることに「不同意とする」ことも可能ですので下記の問い合わせ先にご相談下さい。

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。

この研究は教員研究費を用いて行う研究であり、利益相反委員会にこの内容を申告し、適正に管理されています。研究に関してご質問のある方や研究への参加を希望されない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

【問い合わせ先】

担当者：所属 呼吸器外科学 職名 准教授 氏名 清水克彦

TEL：086-462-1111（内線 25519）

FAX：086-464-1124

E-mail：：gts@med.kawasaki-m.ac.jp

【研究組織】

瀬戸内肺癌研究会 参加施設 約30施設